

麻酔科

選択科目	麻酔科研修プログラム
<p>研修プログラムの概要・特長</p>	<p>指導医と共に、麻酔科管理手術をうける患者の麻酔業務に携わり、麻酔のみならず呼吸・循環・鎮痛管理等について幅広く経験し、周術期管理の重要性を学ぶ。麻酔科標榜医取得を目指す場合、申請に必要な症例数には初期研修時のものを含めることが可能である。</p> <p>(必修分野の麻酔科の項もご参照ください)</p>
<p>方 略</p>	<p>研修期間に応じて、研修できる内容はより深く、高度になるよう設定している。</p> <p>研修水準</p> <p>A：研修指導者の指導・監督のもとに、実施可能なもの B：研修指導者の指導・監督及び介助のもとに、実施が許容されるもの（「介助」とは、研修医の行為が実質的に機械的な作業とみなし得る程度まで研修） C：研修指導者の行為を補助するもの（「補助」とは、機械的な作業を行うことをいう） D：見学に留めるもの</p> <p><選択1～2ヵ月></p> <p>研修水準</p> <p>A</p> <p>1. 術前管理 (1) 一般的な術前診察と全身状態評価 (2) インフォームドコンセント (3) 術前指示書の記載</p> <p>2. 術中管理 (1) 麻酔器の取扱い (2) 麻酔前準備 (3) 末梢静脈確保 (4) 気道確保（用手またはエアウェイを用いたもの） (5) 用手人工換気 (6) 気管吸引 (7) 基本的なモニタリング機器の装着と操作 (8) モニタリング項目の値の解釈と麻酔中の全身状態の把握</p> <p>3. 術後管理 (1) 麻酔後の全身状態の把握 (2) 術後酸素療法</p> <p>B</p> <p>1. 術前管理 (1) 麻酔管理方針の決定</p> <p>2. 術中管理 (1) 麻酔導入・気管挿管（ラリンジアルマスク挿入を含む） (2) 麻酔覚醒・抜管（ラリンジアルマスク抜去を含む） (3) 麻酔中の合併症への対応 (4) 麻酔中の薬物投与</p>

	<ul style="list-style-type: none"> (5) 輸液・輸血の実施 (6) 手術患者への人工呼吸器の設定 (7) 動脈穿刺
3. 術後管理	<ul style="list-style-type: none"> (1) 術後疼痛管理 (2) 麻酔後の合併症への対応（侵襲的処置を伴わないもの）
4. 局所麻酔	<ul style="list-style-type: none"> (1) 脊髄くも膜下麻酔
C	
1. 術中管理	<ul style="list-style-type: none"> (1) 動脈カテーテル留置 (2) 気管支ファイバースコープを用いた気管挿管 (3) 分離肺換気用気管挿管 (4) 重症加算・腹臥位・側臥位・腹腔鏡の麻酔管理症例 (5) フルストマック症例 (6) 小児（概ね12歳以下、または緩徐導入を伴う症例） (7) 中心静脈・肺動脈カテーテルの挿入 (8) 経食道心エコー装置のプロープ挿入
2. 術後管理	<ul style="list-style-type: none"> (1) 麻酔後の合併症への対応（侵襲的処置を伴うもの）
3. 局所麻酔	<ul style="list-style-type: none"> (1) 硬膜外麻酔
D	
その他	<ul style="list-style-type: none"> (1) 上記以外で研修指導者が実施するものでなければ危険性を伴う専門性の高い技術
＜選択3ヶ月～＞	
研修水準	
A	
1. 術前管理	<ul style="list-style-type: none"> (1) 一般的な術前診察と全身状態評価 (2) インフォームドコンセント (3) 術前指示書の記載
2. 術中管理	<ul style="list-style-type: none"> (1) 麻酔器の取扱い (2) 麻酔前準備 (3) 末梢静脈確保 (4) 気道確保（用手またはエアウェイを用いたもの） (5) 用手人工換気 (6) 気管吸引 (7) 基本的なモニタリング機器の装着と操作 (8) モニタリング項目の値の解釈と麻酔中の全身状態の把握

	<p>3. 術後管理 (1) 麻酔後の全身状態の把握 (2) 術後酸素療法</p> <p>B</p> <p>1. 術前管理 (1) 麻酔管理方針の決定</p> <p>2. 術中管理 (1) 麻酔導入・気管挿管 (ラリンジアルマスク挿入を含む) (2) 麻酔覚醒・抜管 (ラリンジアルマスク抜去を含む) (3) 麻酔中の合併症への対応 (4) 麻酔中の薬物投与 (5) 輸液・輸血の実施 (6) 手術患者への人工呼吸器の設定 (7) 動脈穿刺・動脈カテーテル留置 (8) 気管支ファイバースコープを用いた気管挿管 (9) 分離肺換気用気管挿管 (10) 腹臥位の麻酔管理症例 (11) 中心静脈・肺動脈カテーテルの挿入 (12) 経食道心エコー装置のプロープ挿入</p> <p>3. 術後管理 (1) 術後疼痛管理 (2) 麻酔後の合併症への対応 (侵襲的処置を伴わないもの)</p> <p>4. 局所麻酔 (1) 硬膜外麻酔・脊髄くも膜下麻酔</p> <p>C</p> <p>1. 術後管理 (1) 麻酔後の合併症への対応 (侵襲的処置を伴うもの)</p> <p>D</p> <p>その他 (1) 上記以外で研修指導者が実施するのでなければ危険性を伴う専門性の高い技術</p>
研修実施責任者	麻酔科長：山本 達郎
研修指導責任者 (指導医)	(正) 杉田 道子(4-6月)、山田 寿彦(7月-) (副) 野中 崇広

※本人の希望があれば、麻酔科の研修とあわせてペインクリニックもしくは緩和ケアに関する研修も、受け入れ状況によって考慮する (外来、病棟、緩和ケアセンター等)。